

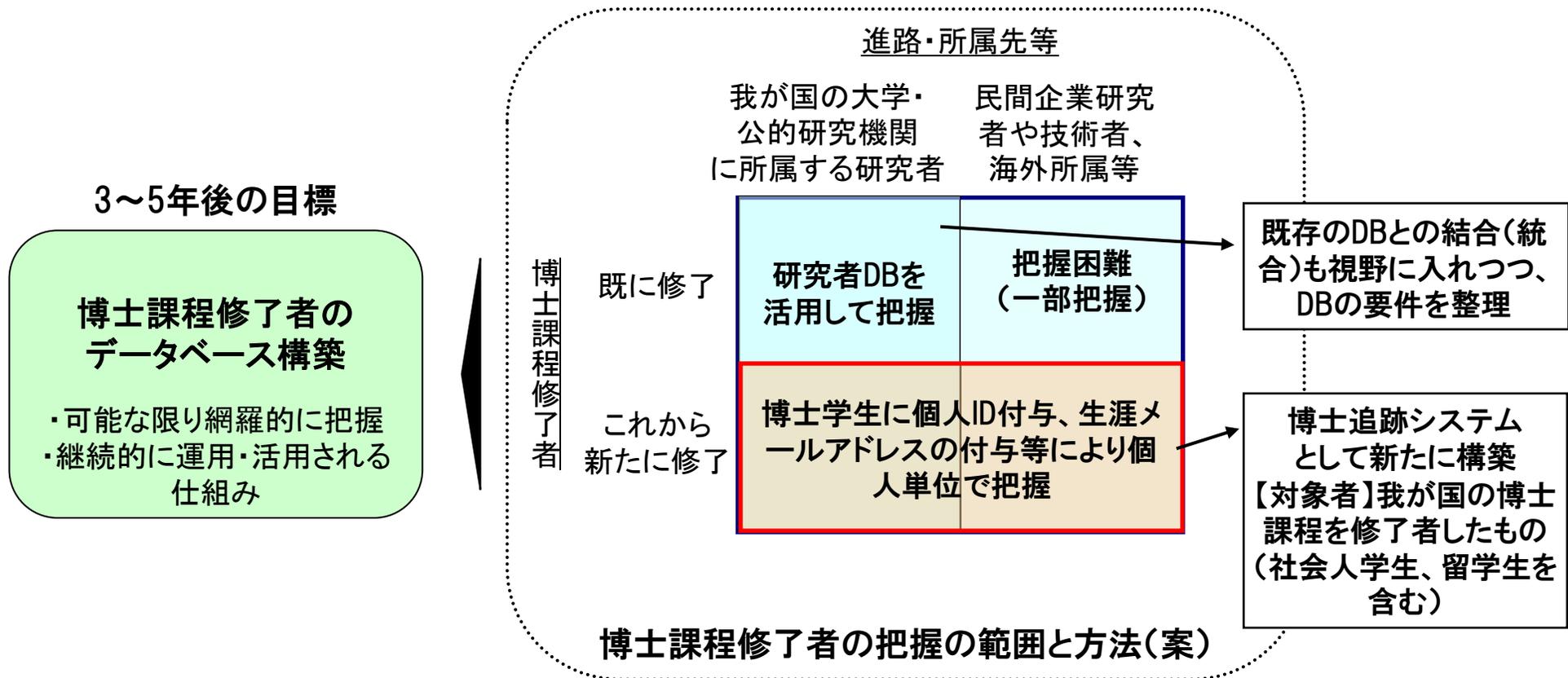
「博士課程修了者の追跡システム・高度人材 データベース構築に向けた基盤整備」プロジェクト

構築するデータベース構想について

2011年11月4日

株式会社日本総合研究所
文部科学省 科学技術政策研究所

本プロジェクトで構築するデータベースの構想



H23年度

データベース構築に向
けた博士課程修了者の
把握の範囲や方法につ
いての概念設計

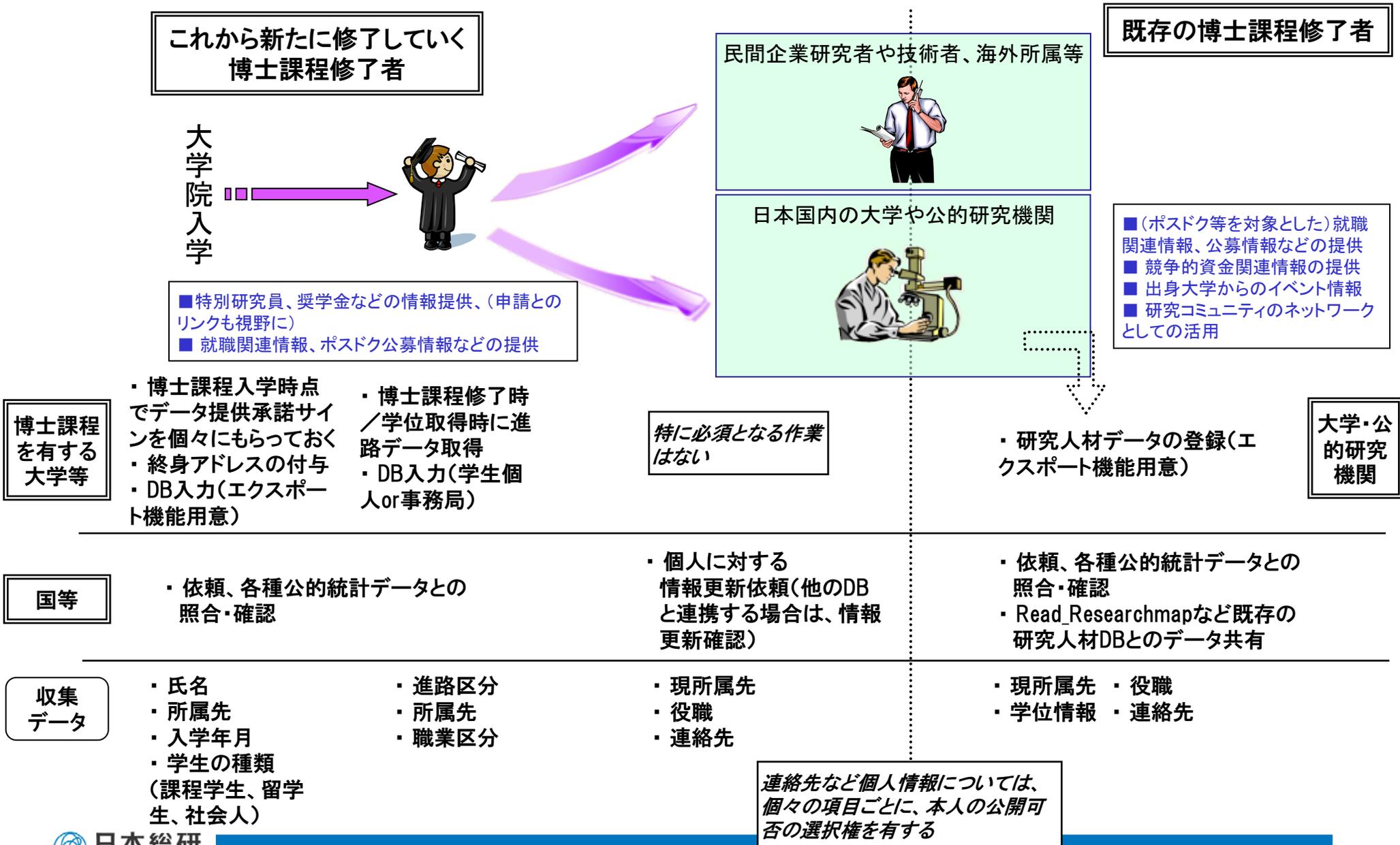
H24年度

関係機関への協力要請と
試行版システムの詳細設計～作成

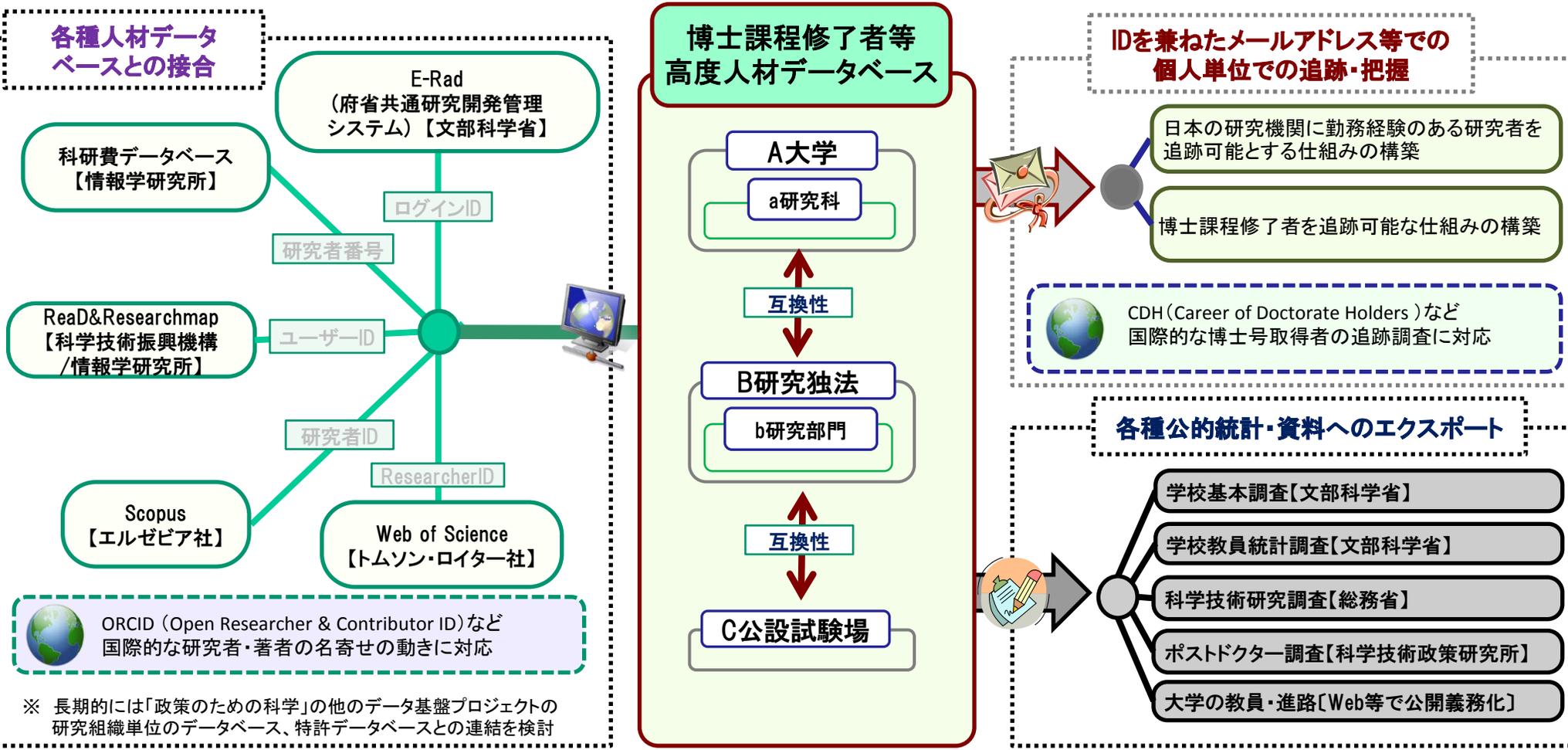
H25年度

...

本プロジェクトで構築するデータベースの情報収集の仕組み（素案）



本プロジェクトで構築するデータベースの将来構想（素案）



本日御議論頂きたい内容

博士課程修了者等高度人材データベース

- ◆ 博士課程修了者データベースを活用してどのような政策立案に資する分析が可能か（こういった分析が必要か）。 ※今後海外事例について調査は実施する予定である
 - ✓ 研究者を育成した教育環境 [大学・大学院・留学経験] の分析
 - ✓ 研究者の職歴によるキャリアパス（機関移動・昇進・在外研究）の分析
 - ✓ 任期付き研究者・特任の雇用動向・テニユアトラック制度に関する分析
 - ✓ 博士課程修了者の進学・就職に関する分析
 - ✓ 論文データベースとの結合：分野・世代・大学別での研究業績の生産に関する分析
 - ✓ 論文データベースとの結合：共著・引用関係から研究ネットワーク形成に関する分析
 - ✓ 研究資金データベースとの結合：競争的資金の取得および効果に関する分析
 - ✓ [大学保有の情報との結合] 教員の授業や指導状況の情報：大学・大学院の教育状況の分析

- ◆ この仕組みを継続的に運用・活用していくために必要となるポイントは何か。関係者それぞれにメリットがあるような仕組みはどういったものか。
 - ✓ 博士課程学生にとって、国に対して情報提供する理屈付けは？（欧米のように研究に従事する場合、責任を与えた上でその対価として給与を与えるといった位置付けであるが、我が国ではまだまだ学生といった位置付けとなっている状況。その中で、特別研究員や奨学金とのリンク、学位授与等との引換などの有効性、実現可能性はどうか）
 - ✓ 就職情報や公募情報等とのリンクやこのDBシステムを活用した公募申請なども考えられる
 - ✓ 機関に対しては、構築したDBを活用するメリット（例：公的統計への簡易集計・入力を可能とするなどの事務負担、・・・など）

- ◆ 個人情報の扱いとして注意すべきこと、構築したデータベースの公開の範囲についての考え方